

(添付資料)

## SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ第 10 回定例会合 (IPSI-10) の概要

### 1. 趣旨

SATOYAMA イニシアティブは、人の活動により形成・維持されている、二次的な自然環境における生物多様性の保全及びその持続可能な利用の促進のため、環境省及び国連大学サステイナビリティ高等研究所が中心となって提唱してきた取組です。SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI) は、本イニシアティブを促進するために設立された国際パートナーシップです。昆明・モントリオール生物多様性枠組の達成に向け、IPSI の実施していくべき取組を検討・具体化するため、IPSI の第 10 回定例会合 (IPSI-10) を開催します。

### 2. 会議の概要

#### (1) 会合の名称

日本語 SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ第 10 回定例会合  
英 語 The Tenth Global Conference of the International Partnership  
for the Satoyama Initiative (IPSI-10)

#### (2) 開催期間

2026 年 3 月 3 日（火）～5 日（木）  
(3 月 4 日（水）に「パブリックフォーラム」を開催予定)

#### (3) 会場

チンボラゾ高等工科大学 (Escuela Superior Politécnica de Chimborazo (ESPOCH)) (エクアドル共和国・リオバンバ)

#### (4) 実施主体（主催）

SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI) 事務局 (国連大学サステイナビリティ高等研究所 (UNU-IAS))、環境省、チンボラゾ高等工科大学 (Escuela Superior Politécnica de Chimborazo (ESPOCH))、及びジョージア大学 (University of Georgia (UGA))

#### (5) 参加者・参加形式

IPSI 参加団体 (※ 1)

※ 1 : IPSI に参加している団体 (IPSI メンバー) は以下のウェブサイトに掲載されています。2026 年 1 月末現在、80ヶ国・地域から 348 団体が参加しています。

(IPSI ウェブサイト (UNU-IAS) : 日本語)

<https://satoyamainitiative.org/ja/about/members/>

### 3. 主な議題

#### (1) SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ第 9 回定例会合 (IPSI-9) 以降の主な活動に関する報告

- (2) IPSI 行動計画 2023–2030 に関する報告及び実行可能な実施計画 (AIP)  
(※2) の採択
- (3) IPSI 運営委員会メンバーの改選・承認
- (4) SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ第 11 回定例会合 (IPSI-11) の開催地について

※2：「IPSI 行動計画 2023–2030」及び「実行可能な実施計画 (AIP)」「IPSI 行動計画 2023–2030」は、昆明・モントリオール生物多様性枠組を踏まえ、IPSI の活動の方向性を定めたもので、前回の定例会合 (IPSI-9) において採択されました。実行可能な実施計画 (AIP : Actionable Implementation Plan) は、IPSI 行動計画 2023–2030 の効果的な実施に向け、IPSI 参加団体が具体的に実施すべき内容等を定めるものです。AIP は、IPSI 行動計画の 5 つの戦略目標である「知識の共同生産・管理及び活用」、「制度枠組及び能力開発」、「エリアベースの保全措置」、「生態系の回復」及び「持続可能なバリューチーンの開発」それぞれについて案が取りまとめられ、IPSI-10 において採択される予定です。

#### 4. パブリックフォーラム

IPSI-10 開催期間中に、「山岳景観の保全とエコツーリズム」をテーマとするパブリックフォーラムが、オンライン及び対面のハイブリッド形式で、日本時間 3 月 4 日（水）23 時から 3 月 5 日（木）2 時にかけて開催される予定です。

なお、本パブリックフォーラムは、IPSI 参加団体以外の方も参加可能ですが、日本語通訳の提供はありません。

詳細は IPSI ウェブサイト (<https://satoyamainitiative.org/ja/events/ipsi-10-public-forum-conservation-in-mountain-landscapes-and-sustainable-ecotourism/>) を御参照ください。

また取材の申込み、お問合せ等は以下の連絡先にお願いいたします。

#### 問合せ・取材申込先

IPSI事務局（国連大学サステイナビリティ高等研究所）

担当：浜、山本

E-mail：[isi@unu.edu](mailto:isi@unu.edu)

#### 【参考】

#### 1. SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (International Partnership for the Satoyama Initiative: IPSI)

SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップは、SATOYAMA イニシアティブの活動を促進するため、2010 年に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) を契機として、国・地方政府機関、研究機関、国際機関、NGO、民間企業等、多様な主体の参加を得て発足した国際パートナーシップです。2026 年 1 月末現在、80 ヶ国・地域の計 348 団体が参加しています。

【IPSI 事務局ウェブサイト】：<http://satoyama-initiative.org/ja/>

## 2. 社会生態学的生産ランドスケープ・シースケープ (SEPLS)

「社会生態学的生産ランドスケープ・シースケープ (SEPLS)」は、世界各地にみられる、里山・里海のような環境を定義したものです。一般的には、「ハビタット（生き物の生息・生育地）や土地・海の利用の、動的で生物文化的なモザイク構造がみられ、人々とランドスケープ・シースケープの相互作用が生物多様性の維持・向上に寄与すると同時に、人間の福利に必要なモノやサービスを生み出す場所」とされています。

以 上